

山形県地域密着型サービス自己評価票

- 自己評価は全部で100項目あります。
- これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。
- 項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目(例えば、下記項目のⅡやⅢ等)から始めて下さい。
- 自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したのものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。
- 自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	22
1. 理念の共有	3
2. 地域との支えあい	3
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を実践するための体制	7
5. 人材の育成と支援	4
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
V. サービスの成果に関する項目	13
合計	100

※項目番号26 馴染みながらのサービス利用
 項目番号39 事業所の多機能性を活かした支援
 については、小規模多機能型居宅介護事業所のみ記入してください。

○記入方法

[取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

[取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に○をつけます。

[取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で○をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

[特に力を入れている点・アピールしたい点](アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家 族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

○評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目(No.1からNo.87)とサービスの成果(アウトカム)の項目(No.88からNo.100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名	医療法人社団緑愛会 グループホーム満天の家
(ユニット名)	ひだまり棟
所在地 (県・市町村名)	山形県西置賜郡小国町大字幸町6-1
記入者名 (管理者)	舟山 靖恵
記入日	平成 20 年 11 月 1 日

山形県地域密着型サービス自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	法人の理念に基づき、事業所独自の理念を掲げ、ユニット内に掲示している。	
2	<p>○理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	ユニット会議などを通し、その人らしさ、個別ケアを大切にするように常に話し合っている。	
3	<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる</p>	事業所の玄関に大きく掲げている。	○ 地域に向けた広報誌にも盛り込んでいきたい
2. 地域との支えあい			
4	<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	ご近所の方には通りすがりなど気軽に声がけ、事業所主催の研修会や満天まつりなどに参加していただいている。	
5	<p>○地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	地区の一員として、地区の作業や行事への招待なども頂き、積極的に参加し地元の方々との交流を図っている。地域の方々も出向いてくださり、交流を深めている。又、早朝に中庭の草むしりをしてくださっています。	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	<p>運営推進会議において、民生委員や公民館長との情報交換をし、地域に役立つ事はないか話し合っている。又、事業所に相談に来られる件数も増えてきている。</p>	○	<p>事業所として、特に認知症に関しての知識を広げていただけるような取り組みをしていきたい。</p>
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>外部評価について全体会にて説明し、周知を図り改善点にも取り組んできた。又、ユニット会議の中で一つひとつの項目について確認と検討を行っている。</p>		
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進委員の方には外部評価の結果をお渡しし、運営推進会議において意見を頂き、サービスの向上を図っている。又、ご家族の方にもお渡しし説明、意見を頂いている。</p>		
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>町の高齢者部会に出席し、情報交換などを行い連携を密にしている。又、運営推進会議の委員もお願いしている。</p>		
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>研修会などに参加し学ぶ機会を得ている。又、ユニットは違っておひとりの利用者が成年後見人制度を利用されていた。</p>		
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>利用者の権利、グループホームの倫理綱領を明示し、職員一人ひとりが注意を払い防止に努めている。又、虐待について内部研修会を行っている。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時、重要事項説明書をもとに、事業所の説明を十分に行い理解と納得をいただいている。</p>	
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>利用者とは日常会話の中で、又、家族とは面会時など、常に困っている事や不安な事はないか聞き取り、改善している。</p>	
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>健康状態は、通院の際又は、状態に変化ある時はその都度電話連絡している。金銭管理については、預かり金を出納帳に記入し月末で締め、毎月コピーしたものを、また利用者の様子については、満天だよりを発行し担当者がコメントを記入して家族に送付している。職員の異動についてはユニット内に写真掲示を行い、面会時ご家族に報告している。</p>	
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>湖山ケア委員会によるアンケートの実施による吸い上げを行っている。また、サービス担当者会議や面会時特に意識をして聞き取りを行っている。新たに、玄関にご意見箱の設置を行っている。</p>	
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>個人面談や全体会、ユニット会議等で意見を聞く機会を設け、意見や提案を聞き反映させている。</p>	
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>利用者の状態やニーズに応じて勤務調整を行っている。各ユニットの協力体制があるので、必要に応じて勤務調整を行っている。2ユニット掛け持ちできる職員を確保している。</p>	
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの職員による支援が受けられるよう配置異動を行い、職員が交代する場合でも、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>2ユニットで合同の行事を行い、常にユニット間を行き来してお茶飲みしたりして、職員の名前も覚えてくれる利用者もいる。異動の職員については、利用者に事前に説明を行い、納得して頂き安心して過ごせるよう配慮している。家族にも面会時に説明し報告している。</p>	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>		
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>		
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>		
22	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>		
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人の状況、状態に応じてホーム利用が適切かどうか、何が必要かを見極め、ご本人と家族の実情をふまえ、必要に応じて他事業所の利用の調整を行っている。		
26	【小規模多機能型居宅介護のみ】 ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している			
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者の自分の役割りとして、出来る方には率先して掃除、洗濯物たたみ、食器拭きをしていただいている。また、利用者に献立を考えていただく日を設けている。		
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	面会時、利用者を交えてお茶を飲んでいただき、ホームの様子や体調についてなど情報交換を行い相談している。また、意見や要望など気軽に話せるような関係を作りに努めている。		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	隔月発行のホーム便りとユニット便りにて近況を報告している。又、サービス担当者会議には、ご本人とご家族に同席して頂き、より良い関係が築いていける様に支援している。		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	利用者ご本人が行き慣れた理容、美容室を利用している。又、希望に添って出張サービスしてくれる。知人や近隣の方が気軽に立ち寄れるようにしている。		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	常に共同でいられる場の提供をしている。何気ない言葉の掛け合いでトラブルになりそうときは、職員の介入により回避している。又、同じ屋根の下に住むものとして、お互いに声を掛け合い、支えあっている。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている</p>	<p>体調不良などにより入院され退居になった方などにも、定期的に面会に行き声がけをしている。</p>	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>毎日の会話やセンター方式の活用により、ご本人の思いや希望、意向を把握している。ケアプランの更新時にもご本人、家族の意向をその都度聞き取りプランには反映させている。</p>	
34	<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>センター方式の活用によって生活歴など、把握している。その他にもご本人、家族、知人などから情報収集を続けている。</p>	
35	<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身の状態、残存能力の現状を把握している。</p>	
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	<p>○チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>その人らしく暮らす為に担当者を中心にご本人、家族、関係者によりサービス担当者会議を行っている。又、話し合いによってご本人やご家族の意見をお聞きし、カンファレンスを開催し職員の中でアイデアを出し合い、介護計画を作成している。</p>	
37	<p>○現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>月一回のモニタリングを行い、又、6ヶ月に一度のプランの見直しを行っているが、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、ご本人、家族、関係者と話し合い、現状に即した計画を作成している。</p>	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	プランに基づいて介護記録を記入している。又、その日の利用者の状態を含め、必要に応じミーティングを行っている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	【小規模多機能型居宅介護のみ】 ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている			
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、公民館、図書館、その他公共的施設などの協力を得ながら支援している	ホームの行事の際など、ボランティアの受け入れを行っている。消防署の協力により、避難訓練など指導を受けている。又、町内の商店を利用し、運営推進会議などで公民館関係者にも働きかけている。警察にも名簿を提出し緊急時に備えている。		
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や生活支援上の必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、介護保険外も含めて他のサービスを利用するための支援をしている	在宅時のケアマネジャーと入所後も情報交換を行い、相談に乗っていただいている。また、歯科医院など往診していただいている。		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議の委員として情報を提供したり、意見を頂いたりして関係を築いている。また、独居生活の方などの支援については地域包括支援センターに相談させていただき、対処している。		
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、かかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居時に主治医の確認とかかりつけの病院を確認している。病院には定期的に通院し、体調、本人の希望に応じ通院医療を受けられるように支援している。又、やむを得ず変更する場合は、本人、家族と良く話し合い同意を得ている。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>		
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>		
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>		
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>		
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個別ケアに取り組み、入居者の人権、人格を尊重する「こやまケア」を実践し、職員の質の向上とサービスの向上を目指し、自己評価を行っている。個々の誇り、プライバシーを損ねるような言葉かけや対応は行っていない。また、個人記録は目の付かないところに片付けている。	
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	ご本人の希望を出来るだけ取り入れまた、希望に合わせて外食したり、ドライブに出かけたり、また、家族の協力を得て外出・外泊をお願いし、気分転換を図っている。	
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	何か役に立ちたいと言う気持ちを大切に、また、何か活躍できる役割りを見つけ出し実行出来る様に工夫している。また、日常の会話や天候などに合わせて、散歩などを取り入れたたりしその日をどのように過ごすか決定している。	
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	毎朝、本人が鏡の前で整容出来る様に介助し、洋服なども本人が選ばれるように支援して着て頂いている。また、希望に応じ店などにも出向き、洋服を買われる様に支援している。近所の理容、美容室、なじみの理容、美容室へ出向き、希望によってはホームへ来ていただいている。	
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	季節を感じるように出来るだけその時期に合ったものを提供している。また、職員も一緒に食べる事で、利用者の嗜好など聞き取る事ができ、献立を作成するのに大変役立っている。盛り付けや食器拭きなどは出来る方へ支援している。	
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	本人の嗜好について把握し、嫌いなものには代替品を提供し、お茶をはじめ、好きな物を提供している。	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	利用者の排泄パターンを職員が把握している。本人自身で排泄される方以外は、何気ない声かけにて誘導を行っている。体調によりオムツ使用の方も居室にてプライバシーに配慮したケアを行っている。		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	毎日でも入浴できる体制になっている。入浴時声かけを行い入浴希望される方に対応している。また、ゆっくりとくつろがれるようにかかわりをもたれるようにしている。なおかつ、本人のプライバシーを配慮しながら対応している。		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	利用者本人の状態に合わせて、日中の活動を行っている。本人の時間に合わせ安心して休まれるように支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者の生活歴、経験などセンター方式にて記録し担当者が中心になって利用者の生きがいがいた、希望を叶えていく事により楽しみや晴らしになるよう支援している。		
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	家族より預かり金としてホームに預かっている他、自己管理できる方についてはご自分で管理されている。病院の支払いを出来る方にはいていただくように支援している。		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	ホームの中だけでなく、利用者の希望や天気の良い日や必要に応じよう散歩に出れるように支援している。また、自宅への外出については、ご家族と相談しながら行っている。		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	個別またはホームの他の利用者と一緒に家族と共に外出する機会を作るように支援している。また、回転寿司や温泉、花見なども企画をし出掛けるよう支援している。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ホームにいても家族を残してきている思いは強く、電話対応や面会などで支援している。また、年賀状を郵送している。		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	面会には居場所を提供し、お茶など一緒に飲んでいただき、ゆっくりとくつろいで行かれる様に支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	全体会において内部研修会を開催し周知を図り、身体拘束の具体的な行為を理解し、身体拘束を行っていない。		
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、環境や利用者の状態を考慮しながら鍵をかけないで安全に過ごせるような工夫に取り組んでいる	玄関については自動ドアになっており、日中は鍵をかけずに対応している。		
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	ホームの中での徘徊、散歩については見守りにて距離をおいて付き添い、また、歩行状態に合わせ、本人の希望により安全を確認し支援している。		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	個々の利用者について、出来る方については化粧品などを置き対応しているが、洗剤類は手の届かないところに保管している。薬などの保管については、保管庫に施錠し対応している。		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	職員が利用者一人ひとりの行動や状態を把握しておりまた、各項目についての基礎知識はマニュアル化し、危険箇所などはリスク、安全管理委員会により点検し事故防止に取り組んでいる。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	緊急時マニュアルや連絡網など目に付くところに掲示し、職員への理解と周知を行い、いつでも対応出来る様になっている。蘇生法の講習会に参加し習得している。		
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回の避難訓練のほか、部分訓練として夜間想定訓練など行っている。地域の方の理解と協力を得ていくため、公民館長や駐在員の方へ働きかけている。また、消防団にも働きかけている。		
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	利用者により起こり得るリスクがある時は、家族への説明はもちろんの事、頻回に家族との話し合う場を設けて対応策を考えている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日のバイタルチェックで利用者一人ひとりの体調の変化を見逃さず、変化については申し送りで情報を共有しその後の対応に結び付けている。		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	病院より処方された薬は、調剤薬局より受けてきて、マーカーによる分別、日付を記入し仕分けしている。変更ある時は薬名、効能など通院記録簿に記入して職員に周知する。内服介助の場合は名前、日付、朝、昼、夜の確認をしている。セッティングについても必ず3回目を通すようにしている。		
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	水分はもちろんの事、食事での繊維質や自家製ヨーグルトなど工夫し排便コントロールを行っている。排便コントロールがつかない方については、主治医と相談し対応している。		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後一人ひとりに会った口腔ケアを行うように支援している。治療の必要な場合は、歯科受診したり、往診に来ていただいている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	カロリーを考慮し献立を作成している。食事形態もその利用者に合うように提供して食べやすくしている。水分量の目安を1500CCとし、管理している。		
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	インフルエンザは職員はもちろんの事、利用者は本人家族の希望にて接種している。また、感染症についてマニュアルに沿って対応出来る様に全体会で研修会を行っている。職員は出勤時にはうがい手洗いをし勤務表にてチェックを行っている。		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	台所、調理用具の消毒を行い、食材も特別な事がない限り、毎日買うようにしている。冷蔵庫内も定期的に点検、清掃し清潔を保てるように温度計を設置している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関周りにプランターで花を置き、また、花壇も整備している。GHの玄関の自動ドアにもわかりやすくなっている。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関には季節の物を展示し、またフロアには利用者が作成した作品を展示している。職員の役割りの中で、担当を中心に居心地良く過ごせるように工夫をしている。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	フロアにはソファを置いて、いつでもくつろがれるようになっている。また、個別に一人でひなたぼっこをしたり出来る様なスペースを設けている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時、家族に相談し、馴染みの物や愛用しているものを持ってきていただき、できる限り自分のお部屋に近い様に工夫して、安心して過ごせる環境を提供している。		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	気になっている匂いには炭を置いたり、コーヒー殻を置いたりして対応している。また、掃除の時に窓を開け換気を行っている。冬期間についてはホーム全体が乾燥しやすくなるため、加湿器や濡れタオルなどで対応し、ホーム全体同一温度となるように配慮している。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	フロア、トイレ、お風呂など手すりの設置により自立した生活ができる様に支援されている。また、車椅子の方が洗面所を使用しやすいようにミラーの角度が少し斜めになっている。食事の際の準備にあたられる様に少し低めのカウンターがあり、工夫され自立できる様に支援している。		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	ホームでの生活は家庭的な雰囲気を作り、居室前には表札をかけて対応している。また、居室の中は利用者が使いやすい様に工夫され、タンスの整理をしやすく名前をつけたりして自分でも片付けられる様にしている。		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	中庭に畑や花を作り、野菜を収穫したり花を取ってきてフロアの花瓶に飾っている。ベランダにプランターを置き水やりを一緒に行っている。		

V. サービスの成果に関する項目			
項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている		①ほぼ全ての利用者が
		○	②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
		○	③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

日々の生活の中で、お一人おひとりの思いや願いを大切に、少しでも希望が叶えられる様に取り組んでいます。特に外出行事を多く取り入れ、外食や花見、ドライブと棟外に出てください気分転換を実施して頂き喜んでいただいています。夏になるとご近所やご家族の方々より、畑で採れた野菜を届けてくださったり、面会時にはお茶を飲んでくださったりしてくださりスタッフとの関係がとても良好です。益々、地域へ出向く機会を設けまた、地域の方が足を向けてくださる様に信頼される事業所でありたいと思っております。